



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集*渡部
Tel 046-223-0110

特殊詐欺の被害防止活動

～キャッシュカードを渡さないで！！～

高齢者が交通事故の被害者にならないための対策

令和2年11月末(速報値)で、県内で交通事故により亡くなられた65歳以上の高齢者の方は51人で、交通事故死者全体の約4割を占めており、年齢別では、最も高い割合となっています。高齢歩行者の関係する交通事故については、道路を横断している時が多くなっています。

このため、道路を横断する場合には、必ず横断歩道を利用するといった基本的なことを守り、さらに道路を横断する際は、横断中も含め左右を確認するなど、注意を払うことが大切です。また、歩行者の交通死亡事故の発生は、夜間が全体の約5割となっており、歩行者の交通死亡事故を防止するためには、反射材用品の着用が効果的です。

県警察では、歩行者の方が交通事故の被害者とならないための対策として、2月14日から2月23日までの10日間を

- 反射材直接貼付強化週間として、主に高齢歩行者の方に対して、反射材の視認効果、使用方法等について理解を深めるため
- 実際に靴や鞆に反射材を直接貼付させてもらう活動
- 反射材着用の必要性を実感してもらうため参加・体験型の交通安全教育を推進しています。

◎ キャッシュカードの被害が特殊詐欺被害全体の6割以上を占めています。

○ キャッシュカードを預かる手口
「医療費の還付があります。どこの金融機関をお使いですか？」と言われ、金融機関名、口座番号等を答えると、金融機関職員から連絡があり「キャッシュカードが古くて振り込めません。再発行のために職員が伺います。」などとかたり、再発行の名目で自宅に来た金融機関職員をかたる者がキャッシュカードを預かりだまし取るもの。

○ キャッシュカードをすり替える手口
警察官等をかたつて「キャッシュカードが不正に利用されている。銀行協会から連絡があります。」と言い、すぐに銀行協会から「新しいカードを作りましょう。今から自宅に伺います。」と言って、自宅を訪れ、「封筒にキャッシュカードを入れてください。封印をしますので印鑑を持ってきてください。」などと申し向け、印鑑を取りに行く隙を見て、別の封筒とすり替え、キャッシュカードを盗むもの。

○ キャッシュカードに切り込みを入れる手口
警察官をかたり「犯人を捕まえたから、あなたのキャッシュカードを持っていった。」などと連絡して、自宅を訪問し、被害者を安心させるためにハサミを用意し「または用意させ、このキャッシュカードを使えなくするために、切り込みを入れましょう。」などと話し、キャッシュカードの端をハサミで切り込みを入れ、だまし取るものです。

※ キャッシュカードの磁気がない部分に、多少切り込みを入れても使用できます！

事件記録板

昨年12月中旬から1月中旬までの事件は、侵入盗などの事件の発生はありませんでした。

最近の新しい特殊詐欺の手口は、語る文言は異なっても、最終的にはキャッシュカードを預かるものです。文言は変わっても最後にキャッシュカードと言われたら詐欺だと思ってください。キャッシュカードは、絶対に渡さないでください。

駐在所の独り言 ～自分へのご褒美。今後自分の為に楽しみましょ！！～

緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルス感染症の流行拡大が一向に収まらない状態が続いていますが、公式の世界最初の症例からもう既に1年が経っているんですね。治癒した後も数年間後遺症を残す可能性があると言われており、徹底とした感染予防が必要です。終息まで絶対感染しない、させないを徹底していきたいです。さて前回もお話した通り、私自身60歳となり、高齢者の仲間入りして、今後は金銭や健康などあらゆる心配もあるのだろうと、ぼやちと考えています。高齢者には、今後どんな問題があるかを考えたり調べてみました。そのひとつに生き甲斐症候群が問題視されます。生き甲斐症候群とは、仕事一筋で頑張ってきたが、退職を迎え働く事がなくなれば、その抛りどころがなくなり、くよくよと悩むようになるようです。そんな状態のところ、急にボラジエーション活動に参加したり、スポーツをしても周りとの溶け込めず取り残されたような孤独感を感じてしまう事があるという。それを聞いて私自身思う事は、何かをやらなければと気張っててもその充実感を味わえないのではないかと思えます。社会貢献や人々に尽くすとか構え大切にして、本望に事なれば、立派な人を演じたりなど全く必要はないと思うんです。読書したり映画を観たりストレスな事もいい好きな事をしてみたらと思っています。私自身、一般的な高齢者とは、少し違っているのかも知れませんが、決して友人が多い訳でもなく、寧ろこの数年間で連絡を取り合う友人が気づけば少なくなっている気がします。若い頃と違って、最近では友人は数より人柄が大切だと思っています。親しい友人は誰でもいい訳でなくて、決して多くは必要はないと思っています。友人が少なくとも恥ずかしい事は全くないと思います。今まで苦労してきたので、残された時間を自分の為に使って欲しいと願っています。